

小論文（表紙）

氏名	フカガナ	受験番号	※記入不要

(小論文論題)

2025年度 一般入試（春）

以下の論題から1つを選択し、所定の記入用紙3枚以内で記述してください（図表添付可）。

論題 1

ある企業の財の生産量を y 、第 i 生産要素の投入量を x_i ($i = 1, 2$)、生産関数を $y = (x_1^{-2} + x_2^{-2})^{-0.25}$ とする。そして、この企業はプライス・テイカーであり、財の価格を $p > 0$ 、第 i 生産要素の価格を $w_i > 0$ ($i = 1, 2$)、費用を C とする。このとき、次の各設問に解答せよ。なお、計算結果はできるだけ簡潔にまとめること。また、途中までの計算過程や考え方は必ずメモしておくこと。

- (1) 生産関数の同次性と規模に関する収穫について説明せよ。
- (2) x_1 に関する限界生産物を求めて、それが逓減するか説明せよ。
- (3) x_1 は変数で、 x_2 は定数として、費用関数と限界費用を求めよ。
- (4) 技術的限界代替率を求めて、それが逓減するか否か説明せよ。
- (5) x_1 と x_2 は両方とも変数として、費用関数と限界費用を求めよ。
- (6) (5)の状況を前提に、供給関数と供給の価格 p 弾力性を求めよ。
- (7) (5)と(6)を前提に、 x_1 に関する要素需要関数と要素需要の価格 w_1 弾力性を求めよ。
- (8) 上記と同質的な企業が財市場に n 社存在しており、この市場の需要関数は $D = a - bp$ とする(a と b は正の定数)。このとき、市場均衡での均衡価格と均衡数量を求めよ。なお、各企業の供給関数は(6)を前提にする。

論題 2

AさんとBさんの2人からなる社会の公共財供給について、以下の問いに答えなさい。解答するにあたり必要な仮定をすべて列挙すること。グラフを用いる場合、グラフが何を示しているか説明すること。

- (1) 2人がそれぞれ自発的に公共財を供給する場合、社会で消費される公共財の水準は社会的に望ましい水準と必ずしも一致しないことを示しなさい。
- (2) 政府が公共財を供給する状況を考える。社会的に望ましい水準の公共財を供給する方法を2人の費用負担も含めて1つ記しなさい。
- (3) (2)で記した方法で公共財を供給する場合、その水準が社会的に望ましい水準になることを示しなさい。

論題 3

地域間人口移動と地域間所得格差の関係について論じなさい。理論的に考察しても、特定の国・地域についてデータに基づいて考察してもよい。

論題 4

世界銀行が刊行したWorld Development Report 2024: The Middle Income Trapを下記サイトからダウンロードし、“Overview”の部分(pp.1-30)を読み、①「中所得国の罠」の定義とそれに当てはまっていると考えられる諸国、②「罠」にはまっている要因、そして③「罠」から脱出するための処方箋、について議論しなさい。(合計2000字以内。自動翻訳AIの乱用が判明した場合は不合格とする。)

<https://www.worldbank.org/en/publication/wdr2024>

* 選択した論題の欄に○を記して記入用紙と併せて提出してください。

論題 1	論題 2	論題 3	論題 4	得点欄※	採点者署名※

※欄は記入しないでください